

次へ向かう力を

第2号
令和3年12月
発行人：沖・宮山

九州学生リーグ2021



2021年11月6日 vs 九州大学

保護者・OBの皆様へ

こんにちは！西南学院大学ラグビー部4年マネージャーの宮山と沖です。

保護者並びにOBの皆様、厳しい寒さが続きますがいかがお過ごしでしょうか。私たちは残り少ない学生生活を目一杯楽しんでいます(^▽^)さて、今回の「次へ向かう力を」では、引退した四年生のメッセージを載せています。どのような想いで四年間のラグビー生活を終えたのか、保護者の皆様、OBの皆さんに知っていただければ幸いです。

最後に、今月から更に冷え込むと聞いております。お体にはどうぞ気を付けてお過ごしください。

4年生のコメント

◆ 廣瀬悠二(キャプテン)



初めに、保護者の皆様、今シーズンも温かいご声援ありがとうございました。多くの保護者の方々が試合を見に来てくださり、私達がいかに恵まれているか、期待して頂いているかということを変更して実感しました。本当にありがとうございました。

私の大学ラグビー生活は周りに支えられた4年間でした。特に4年時には主将を務めさせていただき、その中で辛いことも多く、ラグビー自体を楽しめないこともありました。同期や後輩たちの支えなしでは最後まで本気でやりきれなかったと感じています。

私が大学ラグビーでやり残したこととしては、4年間で1度も年間目標を達成できなかったということです。

1～3年時の目標...全国地区対抗出場

4年時の目標...九州ベスト4

目標はチーム全員が同じ方向を向いて進むべき指標となりモチベーションになります。

後輩たちにはしっかりと話し合った上で目標を立て、是非達成してほしいと思います。

最後に後輩たちへ、私が1年間言い続けてきた「人としての成長、当たり前のことを当たり前にする」その中でも感謝の気持ちを持つ、ということ。いまラグビーが出来ているのも当たり前じゃないし、仲間がいるのも当たり前じゃないし、大学に通えていることも当たり前じゃない。

慢心することなく、謙虚に、周りへの感謝の気持ちを忘れずに残りのラグビー生活を楽しんでください！応援しています！！

◆久保山智樹



○自分の成長と達成感

大学の低学年の頃は、自身の言動や行動で多くの方々に迷惑をかけました。自身を変えるきっかけを作ってくれたのは、間違いなくラグビー部の仲間存在でした。そして、大学の最終学年の時に副キャプテンを任してもらい、リーダーとして様々なことを勉強させて頂きました。5歳の時からラグビーを始めた中で1番充実した1年間を過ごすことができました。また、大学4年間でラグビーの面だけではなく、人として大きく成長することができたと感じています。ありがとうございました。

○やり残したこと

ラグビーの面ではやり残したことはありませんが、ラグビー外での身体作りをもっと真剣に取り組むべきだったと思います。

○後輩に伝えるべきこと

大学でラグビーを辞める人が多いと思うので、今の環境に感謝して思いっきりラグビーを楽しんでください。

◆久米研輔



○自分の成長と達成感

西南学院大学ラグビー部は良くも悪くも縛りがなく選手主体のチームであるため、私個人としてプレーやトレーニングの面で壁にぶつかる事が多々ありました。しかし、そのような環境下だったからこそ15年間ラグビーを続けてきた中で最も自分で考え行動することができたと思います。そして、メンバーに恵まれたので一番楽しいラグビーでした。

○やり残したこと

特にありません。次のステップへ向けて頑張っていこうと思います。

○後輩に伝えるべきこと

大学4年間は長いようで短いです。そのため、筋トレやラン、ラグビー以外の事も長期的な目線で取り組んで欲しいです。

◆近藤光志朗

○自分の成長と達成感



僕はチームメイトと比べてラグビーが下手なため、常に一生懸命やることを心がけて4年間やってきました。特にこの1年間はラグビーに取り組む姿勢の部分で4年生としてお手本になることを目標にしていました。

声や練習間のジョグ、ランメニューも1本目から全力で走るなど当たり前のことを高いレベルでやる事を常に心がけていました。

チームメイトの皆にどう映っていたかは分かりませんが、僕の中では4年間を通してその意識・行動を貫き通せたと思っています。

○やり残したこと

特にありませんが強いて言うなら、3・4年次にもっと試合をしたかったです。

○後輩に伝えるべきこと

後輩に伝えるべきことは2つあります。1つ目は、体作りにしっかり取り組むことです。上位のチームに勝つためには、技術の向上の前にフィジカルを同等クラスに持っていくことが大事だと考えます。2つ目は、当事者意識を高く持つことです。西南は他人が何か指導を受けている時に、自分は関係無いと思って聞いてない人が多いと思います。そのため、代わりに入った時に動きが分からなかったり、プレーの精度がガラッと変わることが多々ありました。

誰が出てもいいという状態が強いチームだと思うので、一人一人がより高い当事者意識を持つことが大事だと考えます。

◆大和司



○自分の成長と達成感

自分が4年間ラグビーを続けることが出来たのは、同期の存在があったからです。このラグビー生活で何度も困難にぶつかりましたが、その度に同期が助けてくれました。自分を成長させてくれたのも動悸があったからと言っても過言ではありません。同期のみんなありがとう

○やり残したこと

やり残したことはありません。

初心者ではじめたラグビーですが、先輩、同期、後輩たちのおかげでとても充実した時間を過ごすことが出来ました。ラグビー部を選んでよかったです。

○後輩に伝えるべきこと

自分は初心者だったので、1年生の時から誰よりも筋トレをやりました。その結果、セットプレーで安定したプレーをすることが出来たので、筋トレはやってて損はしないです。筋肉は裏切らない！

◆松本大輝



今まで沢山の応援ありがとうございました。この4年間で色々な経験をさせて頂き、自分自身、人として成長する事ができました。私は進路のこともあり、何度かラグビー部を辞めることを考えました。しかし、ここまで続けてこれたのはラグビーの楽しさを再確認させてくれたコーチの方々、同期、先輩、後輩のおかげです。西南ラグビー部ではラグビーの楽しさ、技術だけではなく、何かを継続することの大切さ、責任感、決断力、これからの人生において重要になってくる様々な物を得る

事ができました。今まで本当にありがとうございました。

◆待鳥竜伸



○自分の成長と達成感

3年の大会時に膝の怪我をしたため練習に参加できない日々が続いたが、目的意識を持ってグラウンドに行くことが出来た。

○やり残したこと

4年生になり、皆と一緒にラグビーする時間が少なかったこと。

○後輩に伝えるべきこと

人工芝の恵まれた環境で練習が出来ていること、監督が誰よりも熱意をもって指導してくれること、マネージャーが雨の日や寒い日でもサポートしてくれること、仕事しているのに休日に練習相手になってくれるOBの方々、応援してくれる保護者の方々。

この全てが当たり前じゃないということを忘れずに感謝の気持ちを持って日々を過ごして欲しいです。

私が最後まで諦めずにリハビリを続けられたのは、最後の大会に皆と一緒に出るという目標を持っていたからだと思います。後輩の皆にもチームの目標だけでなく、自分自身の目標も決めて最後まで悔いのないように頑張ってもらいたいと思います！

◆徳永智耀



昨シーズンは1試合しか出場することができず挫折を経験しましたが、今シーズンはコロナ禍の自主トレや、練習後のパス練が実を結び、スクラムハーフとして自分の持ち味を出せたと思っています。パスミスをしなくなったこと、テンポをあげられるようになったことが自分の成長したところだと思います。

ウエイトリーダーとして具体的な働きかけができなかったのが反省です。後輩たちには自分で追い込み妥協せず、四強に負けないフィジカルを目指してほしいと思います。

笑顔で元気に頑張れー！

◆ 藤井柁也



○自分の成長と達成感

この4年間でラグビーでも、人間としても同期や先輩方に恵まれたおかげで成長することができました。

一年の頃の自分と比べると比べ物にならないくらい成長することができたと思っています。西南ラグビー部には本当に感謝しています。最後の鹿児島大学戦には負けてしまい、大変悔しい思いをしましたが、全力を出すことができたので悔い無くラグビー部を引退することができました。

○後輩に伝えるべきこと

後輩たちは試合に出ていなかったメンバーも多くいるので、いきなり試合に出るようになっていたりして大変だとは思いますが、頼もしい3年生を信じてついていけば必ず大丈夫だと思います。

全員でまとまって今年よりもいいチームを作ってくれることを願っています。

◆ 中川洸志



○自分の成長と達成感

私は2年生からの入部であったが、入部当初は高校までやってきたラグビーとは全くちがいで、スクラムやパス1つをとっても様々な技術があることに驚いた。それでも仲間や監督・コーチに支えられ、チームの盛り上げ隊長(自称)とし貢献できたと実感している。

○やり残したこと

私自身、高校まで戦術的なことをあまり考えずにラグビーしてきたこともあり、技術的な面で後輩に伝えられなかったと後悔している。

○後輩に伝えるべきこと

やらされるラグビーよりも進んでやるラグビーの方が楽しいぞ！すべては自分のマインド次第！「Do your self！！」

◆中西亮太



○自分の成長と達成感

4年生になって、責任のある立場として、後輩を引っ張っていくことができるかということや、ラインアウトリーダーとして試合で獲得率を上げることができるかですごく悩みました。

しかしその中でも同期のみんなと支え合いながら、ミーティングをしたり、何か気づいたら小さなことでも言葉にして共有することを意識していました。

自分が後輩を引っ張ることができていたかは分かりませんが、自身としてはとてもやりがいのある1年間でしたし、何より楽しかったです。後輩達には打倒四強の目標達成そして鹿児島大学へのリベンジを果たして欲しいです。

4年間ありがとうございました！

◆宮山礼菜・沖奈菜美(マネージャー)



保護者の方々並びにOBの皆様、今シーズンも沢山のご支援とご声援を頂きありがとうございました。西南ラグビー部での4年間は、心から尊敬できる先輩、頼りがいのある後輩たち、そして温かい同期に恵まれた、まさに「みんなと共にある4年間」でした。私たち4年マネージャーは大学からラグビーに携わり、ルールを知ることからのス

タートでした。苦労もありましたが、その分悔しさや嬉しさを分かち合える喜びも知りました。この経験は自分達のこれからの人生の大きな財産になると感じています。引退した今、改めて西南ラグビー部の一員で良かったと実感しています。今まで支えていただいた保護者の皆様、OBの皆様本当にありがとうございました。これからも西南ラグビー部へのご声援よろしく願いいたします！